

NPO 法人 ファインケア

■会社概要

富士市の介護事業所である NPO 法人ファインケアは、日本の介護が大きく変わり始めた 2000 年代に、福祉業界での経験がない異業種の有志らによって、「素晴らしい介護」や「最善で最良のケア」を目指して産声を上げました。「最善の介護(=ファインケア)とは何か」ということを、利用者さまや、そのご家族と一緒に模索してきました。

法人設立から 17 年が経ち(※令和 4 年 9 月現在)、現在では松岡グループホーム(松岡)・富士南グループホーム(鮫島)・ひなのグループホーム(比奈)・いづみのグループホーム(今泉)、および『孝行家』(鮫島)・『老美成』(五貫島)・『老生直』(比奈)と、グループホーム 4 事業所、小規模多機能 3 事業所の規模になり、介護系 NPO 法人としては富士市内で最大規模となります。



NPO 法人ファインケア 松岡グループホーム

■ユニバーサル就労との出会い

法人設立以来、高齢者・障害をお持ちの方・生活困難の方の生活支援の一環として、雇用や住居、移動手段など、地域で排除されずに生活できる仕組みを独自につくり出してきた NPO 法人ファインケア。「この仕組みを応用し、さらに発展できないか」と考えていた矢先の平成 29 年、富士市はユニバーサル就労に関する条例を制定しました。そして独自に培ってきた仕組

みや経験を富士市で活かして発展させるべく、最も早い段階でユニバーサル就労の協力企業として加入していただきました。

ユニバーサル就労支援センターから繋がった A さんは、長年勤められた会社を退職後、ご自身のペースで働ける環境や年齢制限のない労働環境を希望されておりました。また、不特定多数の方が集まる空間は苦手ということをお話し、業務分解表から各介護事業所や管理物件の屋外の清掃、簡単な営繕から始めました。

現在では、なじみの社員やご家族の方と談笑することや、若い社員さんの育成にも取り組んでいただいております。また、植木の剪定や排水管の清掃など、やや専門性の高い仕事まで取り込まれ、法人の目の届かないところの美化活動に大きく貢献されています。

■10 年先の常識を創る

NPO 法人ファインケアが掲げる 4 つの理念の中には、「今ある力を大切にすること」や「相互に理解し、尊重し、協働すること」が謳われています。また平成 27 年、日本の福祉分野では遅れている更生保護にも力を注ぐため、協力雇用主会にも加入し、より専門的な問題にも取り組まれています。

「今後も 10 年先の常識を見据え、社会問題の緩和・解決に取り組んでまいります」と語る総務部課長の遠藤様。福祉事業のトップランナー、NPO 法人ファインケアの動向に、今後も目が離せません。



総務部
遠藤課長